

メスプ NEWS

今月のテーマ

ハンセン病

～本当に怖いのは病気？差別？～

2025 年

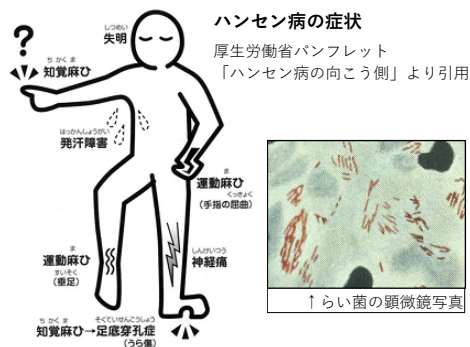
9 月号

今年度は「**感染症の歴史**」をテーマに、世界や日本で流行した感染症と人類の戦いの歴史について特集していきます！

◆ハンセン病とは

ハンセン病は、「らい菌」に感染することで引き起こされます。主に皮膚と神経が侵され、感覚異常、視力障害などの病的症状が現れる慢性の感染症で、**症状が進行すると容姿や手足が変形することから、強い偏見と差別の対象になってきた病気**です。治療法が確立された現代では**完治する病気**です。また、この病気そのもので死に至ることはありません。かつては「らい病」や「癩（らい）」と呼ばれていましたが、1873年にらい菌を発見したノルウェーのアルマウェル・ハンセン医師の名前をとり、ハンセン病と呼ばれるようになりました。

ハンセン病の原因となるらい菌は感染力が非常に弱く、現代の医学をしても培養することができません。たとえ感染しても免疫機能により発病することはほぼなく、現在の日本の衛生状態や医療状況、生活環境を考えると、ハンセン病になることはほとんどありません。そのためハンセン病は、“最も感染力の弱い感染症”とも言われています。



世界各地におけるハンセン病差別の歴史

ハンセン病は単なる感染症ではなく、**差別・偏見・隔離と闘ってきた人間の歴史**でもあります。ハンセン病に対する差別は世界中で存在し、病気に対する無理解や宗教的な偏見、感染への恐怖が、文化や地域を問わず普遍的に差別や隔離政策を生み出してきました。

ヨーロッパ(中世)

- ・ハンセン病＝神の罰、罪深い存在とされ、**宗教的に穢れた人間とみなされた**。
- ・患者は鐘や鈴を持って歩くなどの規制があり、人々に近づくことさえ禁止された。
- ・各地にらい病院（Leprosarium）が作られ、患者は事実上「**生きながらの死者**」として**社会から隔離**された。

アメリカ(ハワイ)

- ・1866年～1969年まで、ハワイのモロカイ島のカラウパパ半島に、ハンセン病患者が隔離され、**出ることを禁じられた**。（カラウパパ隔離）
- ・この隔離地には、カトリックの宣教師ダミアン神父が入り、患者に献身的に仕えた。
- ・約8,000人以上が隔離され、家族と二度と会えず、隔離は**社会的な死**を意味した。

インド

- ・宗教的に「業病（カルマの結果）」とされ、患者は**不可触民**のように扱われる。
- ・患者は家族や社会から隔離され、ハンセン病患者の集落が自然発生した。現在も約600以上の集落が存在し、差別や貧困が続く。
- ・就職、結婚、教育の差別。患者の子どもも学校に行けないなど、**家族単位で差別**されることが多い。
- ・「離婚が合法」「選挙権の剥奪」「公職からの排除」など、**法的にも差別が制度化**されていた。（現在は法改正されている）

ブラジル

- ・20世紀前半～中頃にかけて、**隔離施設へ強制収容**され、自由を奪われた。
- ・患者の子どもは「健康児」として親から引き離され、**孤児院などに強制的に移送**。
- ・回復後も差別され、社会復帰が困難に。
- ・元患者が暮らす「コロニア（旧療養所）」では現在でも**貧困・孤立が深刻**。
- ・国家は賠償や差別撤廃に取り組んでいるが、実際の改善には時間がかかっている。

日本

- ・「**らい予防法**」により、患者を**全国13か所の国立療養所に強制隔離**した。
- ・療養所では**断種（不妊手術）・中絶の強要**があり、結婚・出産の禁止、家族への差別も強かった。
- ・法廃止は1996年と極めて遅く、2001年ようやく国の責任が認められたが、療養所入所者の社会復帰はなかなか進んでいない。
- ・今なお**元患者・家族への差別意識は完全には消えていない**。

- ☒ 見た目の変化
- ☒ 感染に関する誤解
- ☒ 宗教・文化的な迷信
- ☒ 隔離政策による制度的差別



が重なり、病気以上の差別と偏見を受けてきたのです。

◆ハンセン病の現状

ハンセン病は過去の病気ではなく、現在も新規感染者が年間20万人も報告されています。特にインド（世界最多）、ブラジル、インドネシアに多く、社会的差別・偏見の残存や医療アクセスの格差、後遺症のケア不足などが問題となっていて、WHOでは「ハンセン病ゼロキャンペーン」が推進されています。

日本では現在、新規感染はほぼありませんが、かつての国立療養所には元患者の高齢者が今も生活しています。元患者や家族への差別意識は今も根強く残っています。また、元患者の高齢化が進み、人権回復・記憶の継承が課題となっています。

国連人権理事会では、2010年にハンセン病に対する差別を人権問題と認定しており、世界的には「**病気の制圧**」から「**人権の回復**」へと課題が移行しています。

ハンセン病は遺伝する？

ハンセン病は**細菌による感染症で、遺伝することはありません**。ハンセン病の原因菌が発見されたのは1873年。それ以前は、「病気＝神の罰」「体質・血のせい」と考えられていました。家族内で複数の発症例があると、親から子へうつる家計の病気と誤解されたのです。

実際には「遺伝」ではなく、**長期間の濃厚接触による感染**でした。家族で狭い空間に暮らし、生活を共にしていれば、感染の機会も増えます。それが遺伝のように見えたのです。



～子どものための栄養だより～ ひんけつ よぼう 貧血を予防しましょう！



「貧血」って何かな？

わたし たちの 体 に 流れている 血液は、体 中 に 酸素や栄養を運び、二酸化炭素などいらないものを集める役割があります。

血液の中にあるヘモグロビンは、酸素を体のすみずみまで運んでくれます。

このヘモグロビンの数が少なくなると運ばれる酸素も少なくなり、酸素が足りなくなると体 中にいろいろな不調が出てきます。これが「貧血」です。



普通の状態の血管



酸素の量が多い

げんき 元気



貧血の血管



酸素の量が少ない



疲れやすい・めまい・頭痛・
集中力がなくなる・眠くなる

「貧血」にならないための栄養

鉄

…ヘモグロビンの材料



レバー・赤身の肉



貝・赤身の魚



大豆製品



ヒジキ・のり



枝豆



緑色の野菜

ビタミンC

…鉄の吸収を助ける



野菜



くだもの



イモ

動物性タンパク質

…鉄の吸収を助ける



肉

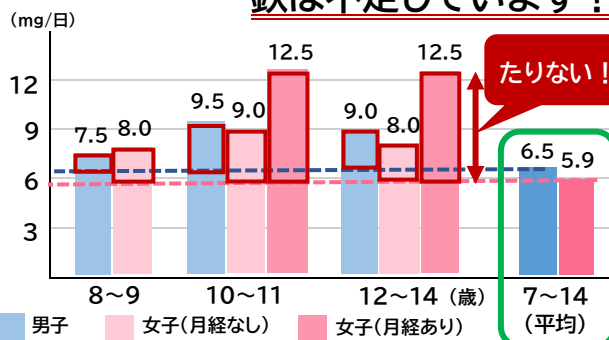


魚介類



たまご 卵

鉄は不足しています！



食べている量の平均は、男子6.5mg、女子5.9mgで、必要な量に足りていません！

厚生労働省 日本人の食事摂取基準(2025年度版) 令和5年国民健康・栄養調査結果より作成

今月の音だより ～「赤とんぼ」



作曲者：山田耕作 作詞：三木露風 2007年に日本の歌100選に選出されています。

タヤけこやけの 赤とんぼ おわれてみたのは いつの日か
山のはたけの くわの実を こかごにつんだは まぼろしか
十五で おえやは よめに行き お里のたよりも たえはてた
タヤけこやけの 赤とんぼ 止まっているよ さおの先



(By 桜餅 Duo ♡)